

小判鮫 後篇 (1948)

メディア 映画

ジャンル 時代劇

製作国 日本

色彩 B&W

時間 89分

初公開日 1949/01/11

公開情報 東宝

【解説】

衣笠貞之助が八住利雄と共同執筆したシナリオをもとにメガホンをとった時代劇。早坂文雄が音楽を担当。長谷川一夫が一人二役を演じた。前篇は1948年12月23日、後篇は1949年1月11日に公開された。タイトルを「第二部・愛憎篇」とする資料もある。

紅雀に惹かれるお七は、お蘭が父親を捨てて紅雀のもとに走ったことを、お蘭の父親である伝助に伝えた。すべてを知った百太郎と紅雀は力を合わせることを誓い合うが、お七に百太郎の隠れ家を見つけられてしまう。百太郎は連れ去られたお蘭をお七の手から取り戻し、二人で中村座の千秋楽へ。舞台の終盤に五島屋と唐津屋がもみあい表舞台に倒れ込んだとき、百太郎は舞台に立ち、すべての悪事を観客の前で暴露するのだった。

【クレジット】

監督 衣笠貞之助

製作 清川峰輔

脚本 衣笠貞之助

八住利雄

撮影 伊藤武夫

美術 平川透徹

音楽 早坂文雄

録音 安恵重遠

出演 長谷川一夫 中村紅雀／百太郎

山田五十鈴 お七

小堀誠 土居斉人

長谷川裕見子 娘お蘭

香川良介 唐津屋万平

村田正雄 三郎兵衛

山路義人 深堀平馬

御橋公 大賀弥左衛門

藤村秀夫 出島屋万兵衛

山田巳之助

南一郎

中川秀夫

山田洋司

飯田覚三

沢井けんじ

進藤英太郎

高松錦之助

常盤操子

飯田蝶子

横井見代子